

未来を生きる子どもたちへのメッセージ ④④
『スポーツの秋』

今年の日本シリーズは阪神タイガースの38年ぶりの優勝で終わりました。野球は筋書きのないドラマと言われますが、オリックスと一進一退どちらが勝っても不思議でない状態が続き、野球の面白さを十分味わうことができました。関西ダービーということもあり、大阪の人柄・土地柄も楽しめました。甲子園球場、大阪ドームの応援にも驚かされました。また阪神を指揮した岡田監督の語録も「ARE」などユニークでした。

9月・10月に行われたワールドカップラグビーもラグビーの醍醐味を堪能できました。かつて日本代表を務めた五郎丸歩選手の「ラグビーには15のポジションがあり、どの選手も自分に合ったどこかのポジションがある」という言葉を聞きましたが、選手がそれぞれ自分の役割を自覚し、役目を果たしている姿に感銘を受けました。その場その場で置かれている状況が変わり、自分たちで作戦を立て、ゲームを組み立てるこのスポーツの凄みを感じました。そのための筋肉の鎧と持久力に賞賛の拍手を送っていました。

津島市民総合体育大会(秋季大会)にできるだけ出席させていただいています。どの種目も参加の子どもたちのパワーを感じます。また生涯スポーツということで、高齢者の皆さんのパワーもいただいています。健康第一、体を動かす楽しみを間近でみせていただいています。3日には、津島市内の街中をポールウォーキングする社会体育の事業に参加しました。私は市内の名所旧跡のガイドをさせていただきました。私ごとですが、毎朝30分程度ウォーキングをしています。まだ始めて半年ですが、自宅の周りに4つのコースをつくり、曜日ごとに市内散策を楽しんでいます。皆さんはどんな運動をなさっていますか？

読書の秋。津島市立図書館や神守分室、神島田分室をのぞかれたことがありますか？読書することは、映像を見る以上に自分の思いをもって取り組む必要があります。書籍でも電子書籍でもかまいません。この秋、まずは一冊手にとっていただきたいと思います。書物は自分の生き方以外の人生を知ることができ、自分の生き方を客観的にながめることができます。「良き師 良き友 良き書物」と出会うことは人生の宝となります。この秋、どうか良き出会いを。

パソコンの打つ手をとめし稲光
宅配の軽トラならぶ秋の暮

令和6年11月8日
津島市教育委員会
教育長 浅井厚視